

みんなで考えよう! 住民の『あし』の問題を

～ 多様なタイプの交通資源を活用し、
交通弱者のない活気ある地域づくりを目指して ～

【主 催】 NPO法人 住学協同機構 筑豊地域づくりセンター
【後 援】 飯 塚 市

全国的に、地方の衰退が顕著になってきています。地方衰退の要因としては、少子高齢化をはじめとする様々なことが挙げられております。

この様な中であって、定住人口の増加が今後それほど期待できない地方においては、地域間の交流を密にすることは極めて重要な課題であることはいうまでもありません。同様に、地域内における交流を活発にすることもまた、地域活性化のためには欠くべからざる要件かと思えます。人びとが地域内を不自由なく往き来し、生きいきとした地域とするためには、住民の「アシ～地域交通機関～」を強化、充実させることが基本的な条件となります。

しかしながら、公共交通機関の密度が低い地方では、マイカーがなければ、十分な社会生活ができなくなるような状況が強まりつつあります。筑豊地域は高齢化が他の地域より進んでおり、住民の「アシ」の問題はより一層深刻化しつつあると言わざるを得ません。

現在、当 NPO法人住学協同機構筑豊地域づくりセンターでは、飯塚市（総合政策課）の協力のもとに、近畿大学産業理工学部（情報学科山崎研究室）と共同して、内閣府（担当 国土交通省）の委託調査『多様なタイプの地域の交通資源を効率的に連携させ、高齢化の時代にも地域のすみずみまで交通弱者のない活気ある地域であるための地域交通情報センター実現にむけた実証的調査』を実施しております。

今回開催するシンポジウムは、この調査の一環で実施するものであります。これからの地域の活性化を考える場合、地域内交通体系のあり方を具体的に提示することは、最も基本的で重要な課題であると考えます。そこで、飯塚市を例にとり、その将来のまちづくりと地域交通のあり方について住民の皆様とともに考えたいと存じております。

ご多用のことと存じますが、当シンポジウムの趣旨にご理解賜り積極的にご参加下さいますようお願い申し上げます。

聴講無料

記

- 日 時 平成20年2月8日(金) 13:00~16:00
- 会 場 のがみプレジデントホテル (4F 万葉の間)
飯塚市新立岩12-37 TEL(0948) 22-3840
- 次 第
- 特別講演 13:00~14:00
『地方都市再生への助言』
日本政策投資銀行 地域振興部 参事役 藻谷 浩介 氏
- 問題提起 14:00~14:30
『地域交通支援情報センター実現のための調査について』
近畿大学 産業理工学部情報学科教授 山崎 重一郎 氏
- パネルディスカッション 14:30~16:00
- コーディネーター 大塚 洋一
(NPO法人 住学協同機構 筑豊地域づくりセンター理事長)
- パネリスト(順不動)
- 自治会 志岐 博一 氏 (幸袋自治会連合会会長 幸袋タクシー社長)
- ボランティア団体 藤江 文雄 氏 (子育てオアシス代表)
- 商店街 中田 資明 氏 (飯塚市商店街連合会会長)
- 交通事業者 柴田 政範 氏 (西鉄バス筑豊(株)社長)
- 行政 縄田 洋明 氏 (飯塚市 企画調整部長)

お申込み・お問い合わせ先

TEL (0948) 72-3077 NPO法人 住学協同機構 筑豊地域づくりセンター